

令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	理科・物理基礎	2単位	対象学年・組	3年AB組
教科書	高等学校改訂 新物理基礎(第一学習社)	教科担任	松坂	

1. 目標 物理基礎における「力と運動」・「エネルギー」・「波動」等についての基本的な法則を学び、理解を深める。
2. 学習の到達目標
- ①物体の運動について学習し、ベクトル量(速度、力)とスカラー量の違い及びその表し方を学ぶ。
 - ②「ニュートンの運動の3法則」についての理解を深める。
 - ③仕事とエネルギーについて学習し、力学的エネルギー保存の法則について理解を深める。
 - ④「音」・「光」等波動について学び、各種現象について理解を深める。

3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	力と運動の法則 力の合成・分解・つりあい ニュートンの運動の3法則 摩擦力 運動方程式 * 期末考査	示された問題をよく考える。 黒板に書かれたこと及び説明され、重要と思われることをノート/プリントに書く。 理解できない点は質問をする。(理解できないままにしない)
2 学 期	26 時間	波(波動) 電磁波・光の性質 反射・屈折 波と振動 物体の運動(まとめ) 圧力と慣性の法則 浮力と圧力 * 中間考査 * 期末考査	示された問題をよく考える。 黒板に書かれたこと及び説明され、重要と思われることをノートに書く。 理解できない点は質問をする。(理解できないままにしない)
3 学 期	20 時間	仕事と力学的エネルギー 力学的エネルギー保存の法則 熱とエネルギー * 学年末考査	示された問題をよく考える。 黒板に書かれたこと及び説明され、重要と思われることをノートに書く。 理解できない点は質問をする。(理解できないままにしない)

4. 学習者への注意

- 欠席をしない。
- 授業に積極的に参加する。
- ノートを活用し、よく復習する(理解できない点は、そのままにしない)。

5. 評価の観点・方法

定期考査での得点・自宅学習課題・ノート提出による平常点・授業態度等を総合的に評価する。